

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会 報告資料

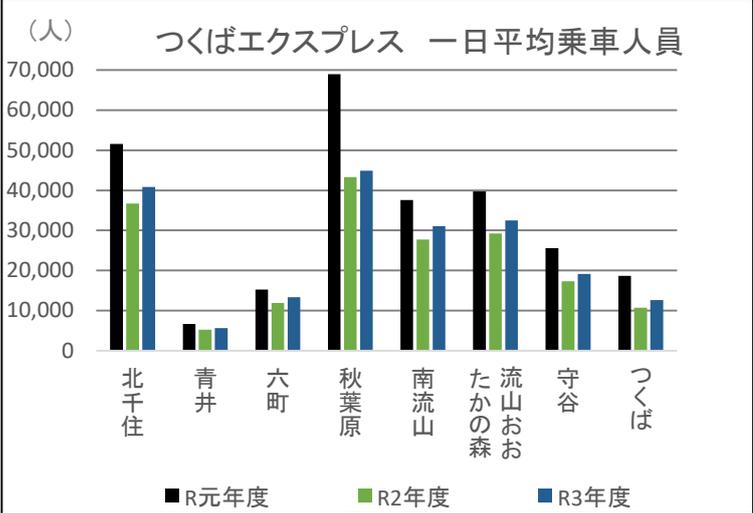
令和4年8月23日

報告事項件名	頁
(1) つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について・・・・・・・・	2
(2) 花畑周辺地域におけるバスの試験運行について・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(3) 多様な交通手段の導入に向けた取組状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(4) 東京女子医科大学附属足立医療センター利用者交通手段調査について・・・	17
(5) はるかぜ車両購入補助予定台数の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(6) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	26
(7) メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について・・・・・・・・・・・・	39

(都市建設部)

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

件名	つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について																																				
所管部課名	都市建設部交通対策課																																				
内容	<p>つくばエクスプレス及び日暮里・舎人ライナーの令和3年度実績（令和3年4月～令和4年3月）について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 つくばエクスプレスの令和3年度輸送実績</b>          （首都圏新都市鉄道株式会社提供）</p> <p>(1) 年間輸送人員          1億1061万人（令和2年度 1億45万人 10.1%増）</p> <p>(2) 一日平均輸送人員          30万6千人（令和2年度 27万8千人 2万8千人増）</p> <p>(3) 混雑率          123%（令和2年度 116% 7ポイント増）</p> <p>(4) 主要駅別の一日平均乗車人員 <span style="float:right">(単位：人)</span></p> <table border="1" data-bbox="454 1079 1230 1547"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北千住</td> <td>51,540</td> <td>36,739</td> <td>40,822</td> </tr> <tr> <td>青井</td> <td>6,680</td> <td>5,279</td> <td>5,671</td> </tr> <tr> <td>六町</td> <td>15,231</td> <td>11,944</td> <td>13,324</td> </tr> <tr> <td>秋葉原</td> <td>68,955</td> <td>43,331</td> <td>44,876</td> </tr> <tr> <td>南流山</td> <td>37,560</td> <td>27,754</td> <td>31,064</td> </tr> <tr> <td>流山おおたかの森</td> <td>39,714</td> <td>29,222</td> <td>32,529</td> </tr> <tr> <td>守谷</td> <td>25,559</td> <td>17,342</td> <td>19,192</td> </tr> <tr> <td>つくば</td> <td>18,671</td> <td>10,715</td> <td>12,654</td> </tr> </tbody> </table> 	駅名	R元年度	R2年度	R3年度	北千住	51,540	36,739	40,822	青井	6,680	5,279	5,671	六町	15,231	11,944	13,324	秋葉原	68,955	43,331	44,876	南流山	37,560	27,754	31,064	流山おおたかの森	39,714	29,222	32,529	守谷	25,559	17,342	19,192	つくば	18,671	10,715	12,654
駅名	R元年度	R2年度	R3年度																																		
北千住	51,540	36,739	40,822																																		
青井	6,680	5,279	5,671																																		
六町	15,231	11,944	13,324																																		
秋葉原	68,955	43,331	44,876																																		
南流山	37,560	27,754	31,064																																		
流山おおたかの森	39,714	29,222	32,529																																		
守谷	25,559	17,342	19,192																																		
つくば	18,671	10,715	12,654																																		

	<p><b>2 日暮里・舎人ライナーの令和3年度輸送実績</b>  (東京都交通局提供)</p> <p>(1) 年間輸送人員  2,805万8千人  (令和2年度 2647万人 6%増)</p> <p>(2) 一日平均輸送人員  7万8千人  (令和2年度 7万3千人 5千人増)</p> <p>(3) 混雑率  144%  (令和2年度 140% 4ポイント増)</p>
<p>問題点  今後の方針</p>	<p>1 つくばエクスプレス沿線区市と連携し、首都圏新都市鉄道株式会社に対し、8両化事業の早期実現と、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた混雑対策についても、引き続き要望する。</p> <p>2 日暮里・舎人ライナーについては、朝夕の混雑緩和対策及び今年度からの新型車両更新が速やか、かつ確実に進むよう東京都へ引き続き要望する。</p>

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

件名	花畑周辺地域におけるバスの試験運行について																																																																		
所管部課名	都市建設部交通対策課																																																																		
内容	<p>令和3年10月1日より運行を開始した、花畑桑袋団地と六町駅とを結ぶ社会実験バスの利用状況について報告する。併せて、花畑周辺地域公共交通検討会（以下「検討会」という。）を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 利用状況（単位：人）</b></p> <p>(1) 利用者推移（3月22日～4月10日は一部運休（9便減））</p> <table border="1" data-bbox="432 860 1430 1361"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1期平均</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日あたり平均利用者数</td> <td>217</td> <td>244</td> <td>252</td> <td>280</td> <td>272</td> </tr> <tr> <td>内数：運賃払い</td> <td>109</td> <td>122</td> <td>115</td> <td>128</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>内数：シルバーパス</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>115</td> <td>131</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>内数：回数券</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>1便あたり平均利用者数</td> <td>4.3</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td>5.5</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>内数：運賃払い</td> <td>2.2</td> <td>2.5</td> <td>2.3</td> <td>2.5</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>内数：シルバーパス</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> <td>2.3</td> <td>2.6</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>内数：回数券</td> <td>—</td> <td>0.1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 2期目の収支率の予測※ 令和4年4月～7月の結果を基に算出すると「11.6%」となる。</p> <p>(3) 3期目の収支率の予測※ 令和4年10月1日から「運行本数の減便」及び「70歳以上の方に割引運賃（110円）の導入」を実施した場合、令和4年4月～7月の利用実績を基に算出すると、以下のとおりとなる。</p> <table border="1" data-bbox="432 1653 1422 1758"> <thead> <tr> <th>全員が利用</th> <th>半数が利用</th> <th>4人に1人が利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20.1%</td> <td>16.9%</td> <td>15.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 「運行本数の減便」及び「シルバーパスを利用不可とし大人運賃220円の徴収」を実施した場合</p> <table border="1" data-bbox="561 1854 1361 1960"> <thead> <tr> <th>全員が利用</th> <th>半数が利用</th> <th>4人に1人が利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.4%</td> <td>20.1%</td> <td>16.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 燃料費高騰等により運行経費が上昇すると、収支率は低下する。</p>	区分	1期平均	4月	5月	6月	7月	1日あたり平均利用者数	217	244	252	280	272	内数：運賃払い	109	122	115	128	133	内数：シルバーパス	108	116	115	131	126	内数：回数券	—	6	22	21	13	1便あたり平均利用者数	4.3	5.0	5.0	5.5	5.3	内数：運賃払い	2.2	2.5	2.3	2.5	2.6	内数：シルバーパス	2.1	2.4	2.3	2.6	2.5	内数：回数券	—	0.1	0.4	0.4	0.2	全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用	20.1%	16.9%	15.3%	全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用	26.4%	20.1%	16.9%
区分	1期平均	4月	5月	6月	7月																																																														
1日あたり平均利用者数	217	244	252	280	272																																																														
内数：運賃払い	109	122	115	128	133																																																														
内数：シルバーパス	108	116	115	131	126																																																														
内数：回数券	—	6	22	21	13																																																														
1便あたり平均利用者数	4.3	5.0	5.0	5.5	5.3																																																														
内数：運賃払い	2.2	2.5	2.3	2.5	2.6																																																														
内数：シルバーパス	2.1	2.4	2.3	2.6	2.5																																																														
内数：回数券	—	0.1	0.4	0.4	0.2																																																														
全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用																																																																	
20.1%	16.9%	15.3%																																																																	
全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用																																																																	
26.4%	20.1%	16.9%																																																																	

## 2 第6回検討会の開催結果

### (1) 開催概要

#### ア 日時

令和4年7月15日（金）

#### イ 開催方法

新型コロナウイルス感染症急速拡大の状況を踏まえ、書面開催（各会員へ郵送）

#### ウ 議事内容確認期間

令和4年7月15日（金）～令和4年7月26日（火）

#### エ 会員名簿

別紙1（P7～8）参照

### (2) 主な議題と報告事項

ア 令和4年4月～6月の利用実績について（参考資料1参照 P10）

イ 利用者アンケートの結果について（参考資料2～3参照 P11～12）

ウ 収支率向上の方策について（参考資料4参照 P13）

### (3) 主な意見

別紙2参照 P9

## 3 乗車割引証の導入について

### (1) 経緯

運賃収入増加策として、従来無料で乗車できたシルバーパス利用者から大人運賃の半額を徴収する予定であった。

しかし、令和4年7月29日付地域公共交通会議（書面開催）において、シルバーパスは有償の乗車券であり、これを提示して運賃を支払うことは、運賃の二重徴収にあたる、との指摘を受けたことから、シルバーパスの代替として、乗車割引証を交付することとする。

### (2) 乗車割引証

令和4年10月1日より、運行ダイヤの改定と併せて、乗車割引証を導入し、社会実験バスにおいてシルバーパスは利用不可となる。

#### ア 概要

70歳以上で運賃割引を希望する方に無料で交付する割引証で、乗務員に提示すれば大人運賃の半額（110円）で社会実験バスに乗車できる。

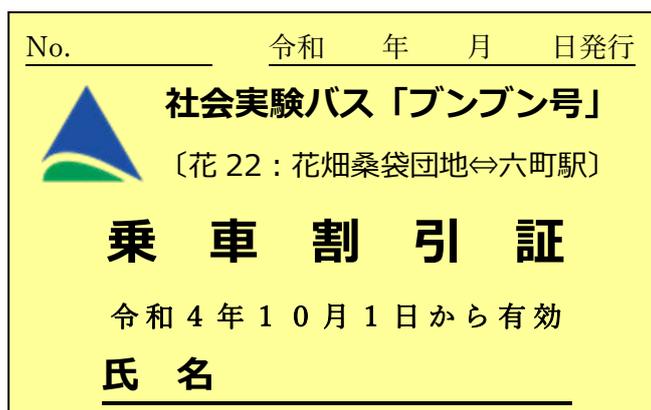
#### イ 交付

9月中旬頃に花畑地域学習センターにブースを設けて臨時に交付するほか、9月下旬以降、交通対策課窓口において交付する。交付に際し、住所、氏名、生年月日がわかる公的な本人確認書類が必要。

#### ウ 周知

公共交通検討ニュースやチラシ・ポスターの配付及び掲示、バス

停での案内、区ホームページ・SNS等を活用して周知を行う。  
エ 乗車割引証のイメージ



#### 4 運賃外収入獲得の取組み

秋頃を目途に、利用者へのサービス向上や運賃外収入の増加等を目的として、広告等が流れるデジタルサイネージを車内に設置する予定。

本件は、運行事業者と設置事業者が契約を締結し、設置事業者は営業活動や広告主との契約を行うとともに、機器の設置・運用にかかる費用を負担（広告契約金で賄う）し、余剰金の一部は運賃外収入となる。

#### 5 今後のスケジュール

年 月	主 な 内 容
令和4年8月下旬	改定内容について、バス事業者から国土交通省関東運輸局へ届出
令和4年10月1日	運行ダイヤ及び運賃体系の改定 (検証期間 残り2期1年)

問 題 点  
今後の方針

令和4年10月1日付運行ダイヤ及び運賃体系改定に向け、バス事業者との調整を進めるとともに、利用者等への周知を徹底する。

## 花畑周辺地域公共交通検討会会員名簿

別紙 1

	団体名	会員区分
1	仲組三丁目町会	会 長
2	榎戸町会	副会長
3	東保木間町会	副会長
4	ベルドゥムール竹の塚自治会	要綱第3条 (1) 会員
5	保木間第五団地自治会	
6	外ヶ原町会	
7	堤根町会	
8	エステート花畑自治会	
9	前通り町会	
10	会組町会	
11	鷺宿町会	
12	花畑第五都住自治会	
13	保木間 11 自治会	
14	花畑四丁目都住自治会	
15	花畑団地自治会	
16	花畑七丁目団地自治会	
17	桑袋団地自治会	
18	保木間五丁目自治会	
19	南花畑自治会	
20	仲組四丁目町会	
21	花畑八丁目団地自治会	
22	花畑西町会	

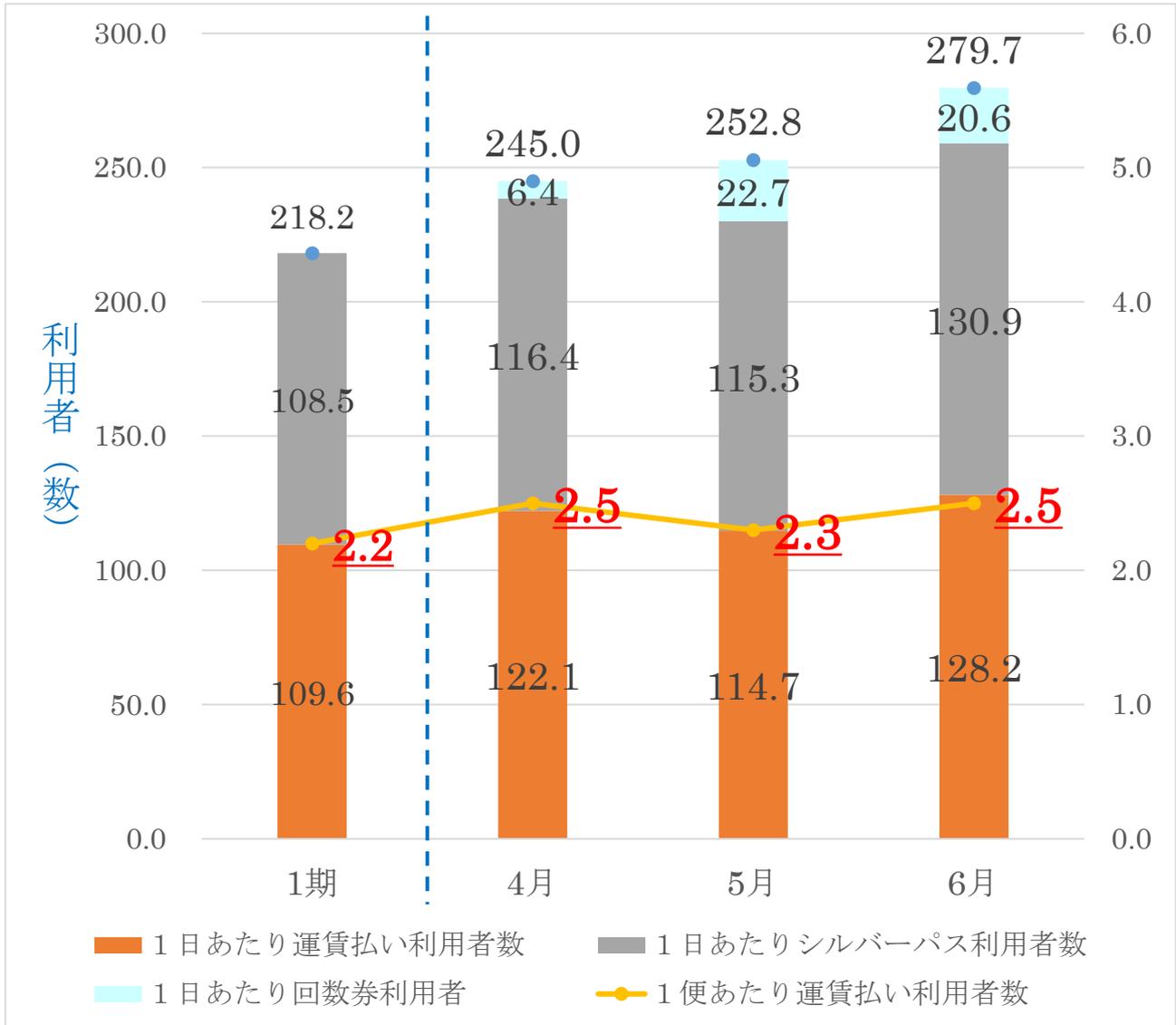
	団体名	会員区分
23	南花畑下沼町会	要綱第3条 (1) 会員
24	花畑第三団地自治会	
25	花保親交町会	
26	水神町会	
27	原町会	
28	名地共和会	
29	名地町会	
30	在家町会	
31	前保木間親睦町会	
32	保木間四丁目自治会	
33	南保木間町会	
34	足立区医師会	要綱第3条 (2) 会員
35	鷺宿平成クラブ	
36	地域包括支援センターはなはた	
37	地域包括支援センター保木間	
38	地域包括支援センターーツ家	
39	花保商店会	
40	株式会社サンベルクスホールディングス	
41	花畑北中学校PTA	要綱第3条 (3) 会員
42	東武バスセントラル株式会社	
43	都市建設部長	要綱第3条 (4) 会員
44	花畑区民事務所長	
45	花畑区民事務所地域担当係長	
46	花畑区民事務所地域担当係長	

### 第 6 回検討会（書面開催）でいただいた主な意見

項目	発言者	意見
運行経費の削減について（方策①）	町会・自治会代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行本数の適正化を望む。</li> </ul>
運賃収入の増加について（方策②）	町会・自治会代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバーパス利用者から大人運賃と同額を徴収すると利用客が減少してしまうと考える。一方で、現状維持であると収支率向上は期待できないため、大人運賃の半額（110 円）が妥当と考える。</li> </ul>
	関係団体※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバーパス利用者にも負担してもらわないと運行が維持できないということをしっかりと説明する必要があると思う。</li> </ul>
その他	関係団体※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケートで社会実験終了後の移動手段として自転車を選択された方は、ブンブン号を荒天時のみ利用していて、待ち時間の発生するバスを利用するよりも、無料で移動できる自転車が経済的かつ効率的と感じる方ではないか。そうした方の利用を増やすよりも、区外の方に焦点をあて、ブンブン号を利用すれば観光資源や民間施設へスムーズにアクセスできることをアピールしてはどうか。</li> <li>・ ガソリン代の高騰等で、普段車を利用する方も、近場へは公共交通機関を利用するという動きが増えていくのではないかと考える。そうした方にブンブン号を利用してもらおうような取組みを実施することも一考の価値があるのではないか。</li> </ul>
	町会・自治会代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 六町駅周辺等に新たに施設等ができないと、利用者の増加は見込めないのでは。方策①・②に関しては支持する。</li> <li>・ コロナ禍で、公共交通への乗車が減少している中、正確なデータを残せるか疑問である。</li> <li>・ オミクロン株の急速拡大が落ち着いた後の利用者増が期待できるのが楽しみである。</li> <li>・ より多くの利用が見込める位置へバス停の移設はできないか。</li> </ul>

※ 関係団体…高齢者、医療機関、商業施設、学校等団体の構成員のこと

## 1日あたり利用者数 月単位推移



## 1 実施概要

### (1) 日程・方法

ア Web（区HP上）

令和4年6月22日（水）～7月6日（水）

イ 紙（ベルクスモール足立花畑及び花畑地域学習センター）

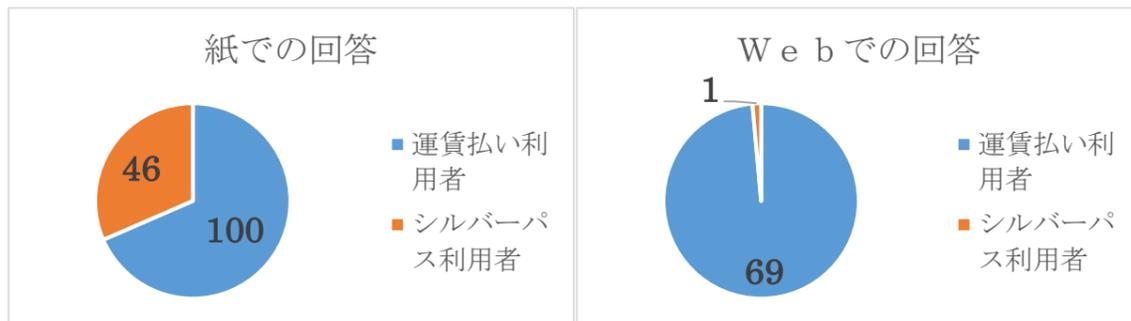
令和4年6月24日（金）～7月6日（水）

### (2) 回答数

ア 概要

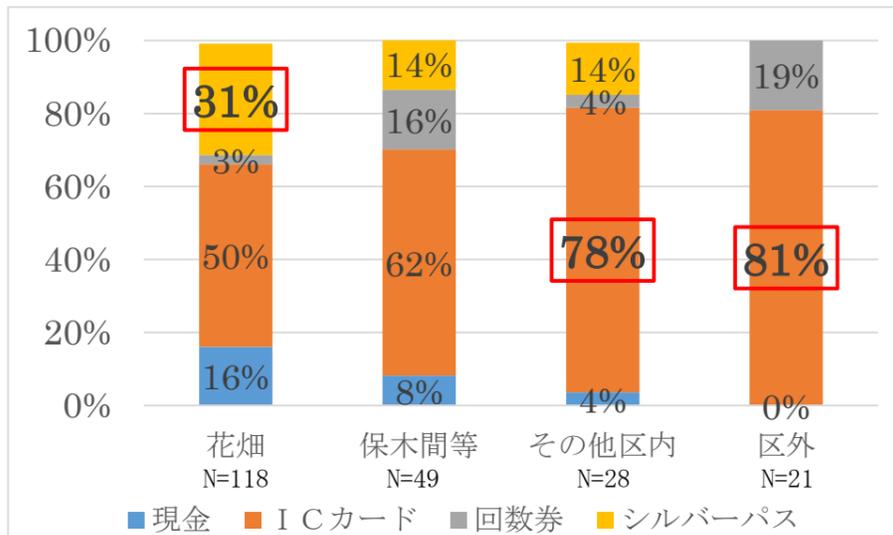
方式	回答数	備考
Web	70件	
紙	146件	ベルクス 117件、センター29件
合計	216件	

イ 回答方式別利用者種別

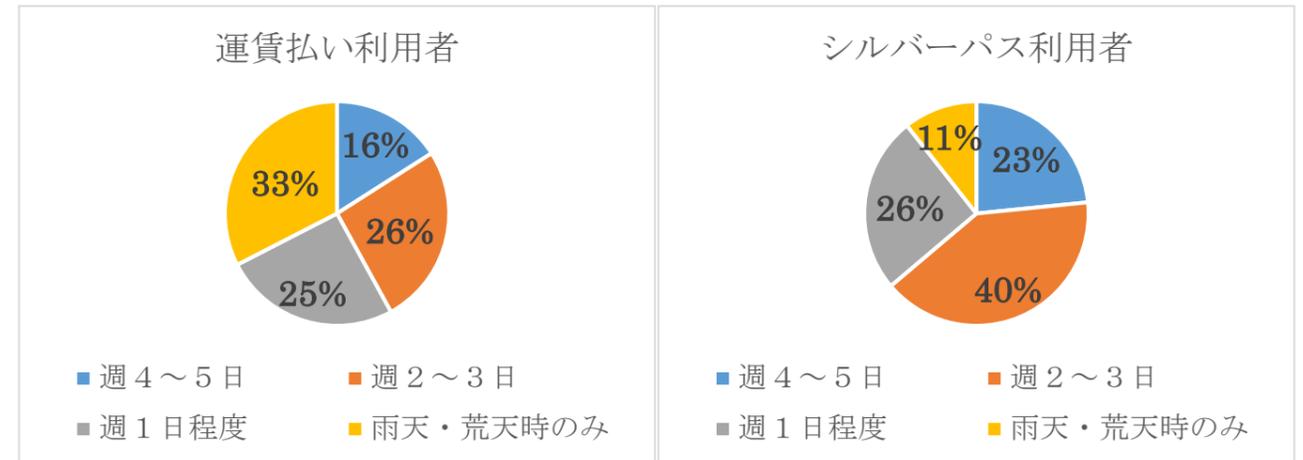


## 2 回答について（主な自由意見は別紙2-2）

### (1) 居住地別利用方法



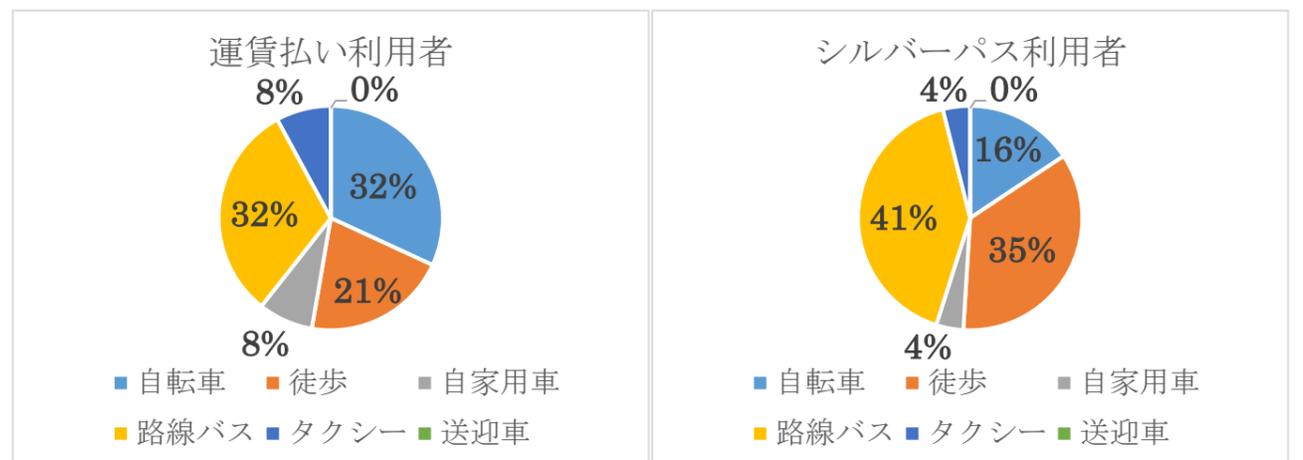
### (2) 社会実験バスの利用頻度



### (3) 収支率向上の方策を実施した後の利用頻度



### (4) 社会実験バスが終了してしまった場合の外出時の代替手段



## 1 運賃に関して

- 110円になっても利用したい。(花畑五丁目、シルバーパス)
- シルバーパス利用者から110円を徴収するのは反対。(その他区内、シルバーパス)
- シルバーパス利用を不可(一律220円)とすればよい。(花畑八丁目、運賃払い)
- かわいそうなのは、高齢者にお金を払わせることではなく、ブンブン号が終わり、高齢者が花畑から出られずに生活し続けなければならないことである。高齢者の方にお金を支払わせるという形で、ブンブン号を支援する方法を与えてほしい。(花畑六丁目、運賃払い)
- シルバーパス利用者が多すぎる。私は70歳を過ぎているが、協力のため回数券や交通系ICカードを利用している。多少の金額は支払うべきである。(保木間二丁目、回数券)
- 高齢者にとって便利な路線であるのに、収支率を上げるためにシルバーパスの人から運賃を徴収するのは間違っているのではないか。高齢者のために出しているシルバーパスが使えないのなら、ブンブン号に反映されるように区のシステムを変えるべき。(花畑七丁目、運賃払い)

## 2 便数・ダイヤに関して

- 既存の花畑桑袋団地⇄六町駅が1日に1往復程度であることを踏まえると、昼は1~2時間に1本でもよいのではないか。廃止には絶対してほしくない。減便しても継続してほしい。(花畑七丁目、運賃払い)
- 減便では利便性がさらに下がり利用者の定着が見込めない。(東保木間一丁目、運賃払い)
- 帰宅時間帯に、TXが六町駅に到着後、構内を走らなければバスに間に合わないため、とても不便である。ダイヤを配慮すれば利用者は増えるのでは。(保木間三丁目、運賃払い)
- (ブンブン号の運行で)とても便利になり良かったと思う。通勤、通学の時間帯だけでも今のダイヤを保っていただくようお願いしたい。(区外、回数券)

## 3 ルートに関して

- 大鷲さくら橋を通るルートの方が、住宅地の中心を通るため、利用が増えるのではないか。通勤目的にも利用できるように、細かいルートに分けて循環してもらえると不便さが改善されていくように思う。(花畑七丁目、運賃払い)
- 六町駅行きが2系統あるなら、2系統を合わせて循環バスにし、同時に竹ノ塚駅方面への運行も検討してはいかがか。(花畑五丁目、運賃払い)
- そもそも文教大学の学生は、バスを利用しないし、六町駅など使わない。高齢者は桑袋団地から花畑五丁目までしか利用しない。ベルクスへの買い物や銀行、郵便局への用事のみで、たまに花畑区民事務所に行く程度。よって、桑袋団地・花畑団地間のバスがあれば十分であり、たまに区民事務所へ行くバスがあれば問題ない。(花畑八丁目、運賃払い)
- 西新井駅発着にすれば、ギャラクシティと生物園というファミリーに人気の施設を結べて回遊してもらうことができる。また、谷塚駅を利用する文教大学生をアリオ等の区内商業施設へ呼び込むことができ、現在西新井と竹ノ塚で二度乗り換えが必要な区西部と区北東部のアクセスが改善する等、メリットが多い。(その他区内、回数券)

## 4 その他

- 高齢で歩くのがつらいため、やめないでほしい。(花畑六丁目、シルバーパス)
- 妊婦健診の際に利用している。利用頻度は高くないが、とても便利で助かっている。(六町、運賃払い)
- 足立特別支援学校まで安心して通えている。無くなってしまったらバス停から学校まで20分徒歩になってしまう。無くならないことを願っている。(その他区内、運賃払い)
- 交通弱者のためのバスであるなら、運賃収入を上げるために高齢者以外の世代が利用しやすく魅力あるバスにすべき。(保木間三丁目、運賃払い)
- 様々なPRで認知度は十分高まっていて、なおこれだけ利用率が低迷するというのは、単純に需要が乏しかったということに尽きると思う。(その他区内、回数券)

1 方策① 運行経費の削減

(1) 概要

終日利用者の少ない土休日について減便するとともに、平日夜間帯は文教大学折返しとするなど、効率的なダイヤで運行することで、人件費を削減する。  
ただし、昨今の燃料費高騰等の影響により、どの程度削減できるかは未定。

(2) 運行ダイヤ案

	改定前	改定後
平日	51 便	47 便 ※ 六町駅発 19 時台以降は文教大学折返し
土休日		36 便

2 方策② 運賃収入の増加

(1) 概要

利用者数の半数を占めるシルバーパス利用者(現在無料)から運賃を徴収することで、運賃収入を増加させる。

(2) 運賃体系案 (現金・ICカード共通、消費税含む)

利用者種別	運賃額	運賃種別
12 歳以上 (中学生以上)	220 円	大人運賃
6 歳以上 12 歳未満 (小学生)		小人運賃
障害者手帳を所持する者及びその介護人 ※ 有効な障害者手帳の提示が必要		割引運賃
シルバーパス利用者 ※ 有効なシルバーパスの提示が必要	110 円	割引運賃

3 方策実施後の収支率 (見込)

方策①と方策②を同時に実行した場合の収支率は、下記のとおりとなる見込み。

◆ 方策実施前 (1 期の収支率) 9.7% (目標値 24%)



◆ 方策実施後

シルバーパス利用者	全員が利用	半数が利用	4人に1人が利用
1 期結果より算出	17.1%	14.3%	12.8%
(参考) 4~6月結果より算出	19.6%	16.4%	14.9%

24%に達成するには、ご利用者の大幅な増員(1期比 約1.4倍)が必須

4 今後のスケジュール

時期 (予定)	内容
8月上旬	地域公共交通会議開催
8月下旬	バス事業者から国土交通省へ届出
9月上旬	ニュース・時刻表等チラシの発行、周知
10月1日	ダイヤ改定・運賃体系変更の実施

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

件名	多様な交通手段の導入に向けた取組状況について
所管部課名	都市建設部交通対策課
内容	<p>バス以外の多様な交通手段の導入に向けた取組状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 これまでの地元ヒアリング結果について</b></p> <p>これまで入谷地区及び鹿浜地区の町会・自治会連絡協議会や町会役員会にて、ヒアリングを進めてきた結果、以下の傾向が見られる。</p> <p>(1) 不便を感じていない方の属性</p> <p>ア 自家用車を所有している方 (目的地に応じて、自家用車・自転車・公共交通を使い分けている)</p> <p>イ 日暮里・舎人ライナーの駅から1km以内の地域にお住まいの方</p> <p>ウ 竹の塚、西新井、川口、王子、赤羽方面への便数の多いバス路線沿いにお住まいの方</p> <p>(2) 不便を感じている方の属性</p> <p>ア 病院、スーパー、駅から概ね1km以上離れた地域にお住まいの方</p> <p>イ 近隣にバス路線があるものの、便数が少ない、または最寄りのバス停まで距離がある地域にお住まいの方</p> <p>ウ 目的地まで行くためにバスの乗換えが必要な方</p> <p>エ 駅やバス停まで徒歩で移動するのが困難な方</p> <p><b>2 意見や地域特性を踏まえた新たな交通手段の方向性について</b></p> <p>1で挙げた傾向や地域からの意見を踏まえると、以下の理由から、定期運行型よりデマンド型の交通手段が地域の需要に合っていると考えられる。</p> <p>(1) 駅やバス停、近隣のスーパー、病院など目的地が広域に渡って点在しており、葛飾区の「さくら」のような定期運行型では路線長が長くなり、定時性や採算性が劣る可能性が高いこと。</p> <p>(2) 交通に対する不便感が住んでいるエリアで大きく異なること。</p> <p>(3) 自家用車を所有しているため、公共交通の利用頻度自体が少ない方も多くいること。</p> <p>(4) 高齢者からは駅やバス停まで遠いという意見が多いこと。</p>

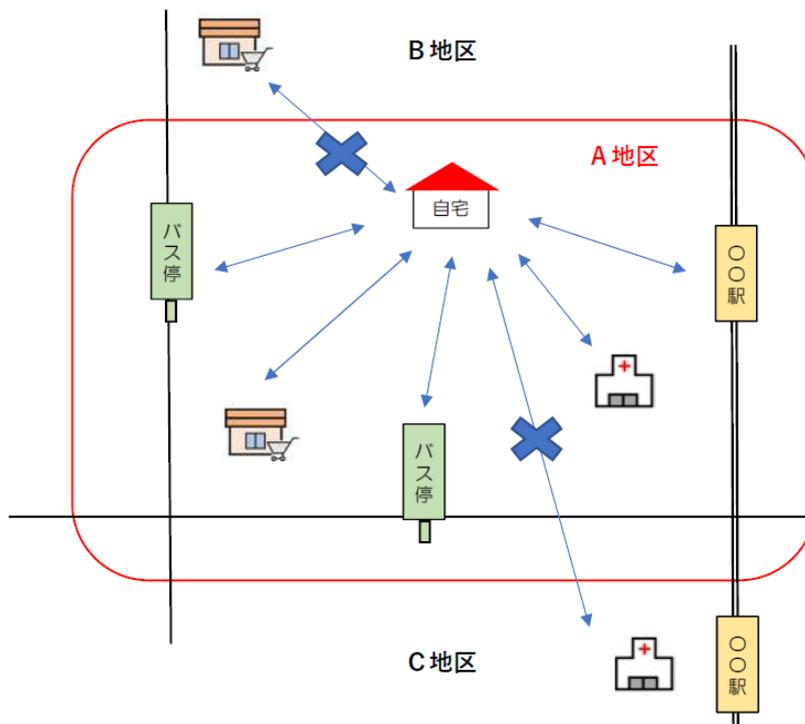
	<p><b>3 デマンド型交通について</b> 別紙（P 1 6）のとおり</p> <p><b>4 交通需要調査について</b> 地域の需要に合った実現性の高い交通手段の検討に向け、両地区にお住まいの方を対象に以下のとおり、詳細な交通需要調査を実施する予定であり、その予算措置として、9月補正対応を行う。</p> <p>(1) 調査目的</p> <p>ア 町会・自治会未加入者や幅広い世代の方から意見や要望を聴取するため。</p> <p>イ 調査結果を専門的見地から分析・解析し、新たな交通手段導入の必要性や収支見込などの検討資料とするため。</p> <p>(2) 調査方式 We bもしくは紙でのアンケート回答方式</p> <p>(3) 配布対象</p> <p>ア 全世帯数の1割程度の世帯へ無作為にポスティングによる配布（入谷地区 500世帯、鹿浜地区 1,500世帯）</p> <p>イ We bアンケート依頼チラシを区施設等で500部配布</p> <p>(4) 主な設問案</p> <p>ア 住所、年齢、職業</p> <p>イ 自家用車・自動車運転免許の有無、将来的な免許返納の意向</p> <p>ウ 頻度の多い買い物、通勤・通学、通院先、その移動手段</p> <p>エ 新たな交通手段導入の必要性と利用頻度、利用目的 等</p> <p><b>5 今後の予定について</b></p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年</td> <td>9月～11月</td> <td>他自治体の事例紹介、事業者ヒアリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月～1月</td> <td>交通需要調査実施</td> </tr> <tr> <td>令和5年</td> <td>2月～3月</td> <td>調査結果集約・解析</td> </tr> </table>	令和4年	9月～11月	他自治体の事例紹介、事業者ヒアリング		12月～1月	交通需要調査実施	令和5年	2月～3月	調査結果集約・解析
令和4年	9月～11月	他自治体の事例紹介、事業者ヒアリング								
	12月～1月	交通需要調査実施								
令和5年	2月～3月	調査結果集約・解析								
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>今後も、地元の方々への説明を丁寧に進め、地域の課題や需要に合った交通手段を検討していく。</p>									

## デマンド型交通について

### 1. 定期運行型との比較

	定期運行型	デマンド型
一般的な特徴	利用者の有無にかかわらず、決まった時刻に決まったルートを実行し、利用者は所定のバス停で乗降する。	利用者からの事前予約があった場合のみ運行し、利用者は登録された場所（スポット）で乗降する。
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>運賃がバスと同額程度（一般的に片道 200 円程度）</li> <li>事前登録や事前予約は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前予約が無い場合は運行しないため、経費の無駄が少ない</li> <li>自宅から乗車可能であり、主要な施設に直接移動も可</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の有無が事前に把握できないため、常時運行となる</li> <li>自宅から所定の乗降場所まで徒歩等で移動が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運賃が定期運行型より高価（一般的に片道 300 円～500 円）</li> <li>利用する場合、事前登録や事前予約が必要</li> </ul>

### 2. 既存の公共交通を補完するデマンド型交通のイメージ



地区内の駅、スーパーや病院などには自宅から直接利用が可能であるが、地区外の施設には既存の公共交通等に乗り換える必要がある。  
 （バスやタクシーと競合しないように差別化が必要）

# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

件名	東京女子医科大学附属足立医療センター利用者交通手段調査について								
所管部課名	都市建設部交通対策課								
内容	<p>東京女子医科大学附属足立医療センターの利用者が、来院する際の交通手段の調査結果について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 調査目的</b> 足立医療センター開院後も、区内各地域から新規バス路線を要望する声があるため、どの地域から来院しているか、また、どのような交通手段で来院しているかを調査することで、交通事業者が運行計画（路線やダイヤ）を検討する際の基礎情報を得るため。</p> <p><b>2 調査内容</b>（別紙1参照 P18～19）</p> <p><b>3 実施方法</b>（別紙2参照 P20） アンケート記載台を、院内の出入り口付近など3箇所に設置</p> <p><b>4 実施期間</b> 令和4年5月13日から令和4年6月17日まで</p> <p><b>5 実施結果</b>（別紙3参照 P21～22） 回答数 381枚（うち、足立医療センター勤務者は105枚）</p> <table border="1" data-bbox="416 1435 1350 1541"> <thead> <tr> <th></th> <th>区内在住者</th> <th>区外在住者</th> <th>回答なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>381枚</td> <td>152</td> <td>223</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>6 アンケートにおける要望の回答等について</b>（別紙4参照 P23） 利用者からの要望が多かった「東43」、「王30」及び「竹ノ塚駅からの新規路線要望」について、バス事業者へ要望し回答を得た。</p>		区内在住者	区外在住者	回答なし	381枚	152	223	6
	区内在住者	区外在住者	回答なし						
381枚	152	223	6						
問題点 今後の方針	今後、バス事業者等と連携を図りつつ、利便性が高められるよう検討をしていく。								

更なる利便性向上のため、ご協力をお願いいたします

## 東京女子医科大学附属 足立医療センター 利用者交通手段調査

日頃から足立区政へのご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

足立区では、令和4年1月の東京女子医科大学附属足立医療センターの開院に合わせ、利用者の利便性向上のため、バス転回場や、東京女子医大通りバス停（バスベイ）等の整備を行ないました。

今回、更なる利便性向上を図るため、医療センターに来院されている方々の交通手段を調査し、交通事業者が運行計画を検討する上での参考とさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

足立区 都市建設部 交通対策課 交通計画係 【TEL】03（3880）5718

【受付時間】午前8時30分～午後5時15分（土・日、祝日を除く）

- 調査票は、記載台となりの回収ポストに入れてください。
- 回答をいただいた方が特定されることはありません。

※ 該当箇所に○、下線部に記入をお願いいたします。

問1 年齢をお聞かせください。

1. 20歳未満
2. 20歳～39歳
3. 40歳～59歳
4. 60歳～69歳
5. 70歳以上

問2 お住まいの地域を教えてください。

1. 足立区内 （ご住所：足立区 \_\_\_\_\_ 丁目）
2. 足立区外（都内） （ご住所：東京都 \_\_\_\_\_ 市・区）
3. 足立区外（都外） （ご住所：\_\_\_\_\_ 道・府・県）

問3 本日の来院目的をお聞かせください。

1. 診療
2. 面会
3. 院内勤務
4. 通学
5. そのほか（\_\_\_\_\_）

問4 来院頻度を教えてください。

1. 週1回以上
2. 月2回以上
3. 月1回以上
4. 年2～3回
5. 年1回程度
6. 毎日（通勤・通学等）

裏面に続きます

問5 来院時の交通手段をお答えください。

出発（ご自宅等）



1. 電車（乗車：\_\_\_\_\_ 駅）（降車：\_\_\_\_\_ 駅）
2. バス（路線・行先：\_\_\_\_\_）  
（乗車停留所：\_\_\_\_\_）
3. タクシー
4. 自家用車（送迎含む）
5. 自動二輪車
6. 自転車
7. 徒歩

《電車・バスをご利用の方》  
最寄り駅・停留所までの交通手段  
は選択不要です。



乗換した場合のみご記入ください。

1. バス（路線・行先：\_\_\_\_\_）  
（乗車停留所：\_\_\_\_\_）
2. タクシー
3. 徒歩



到着（足立医療センター）

問6 今後整備を希望するバス路線がございましたら、教えてください。

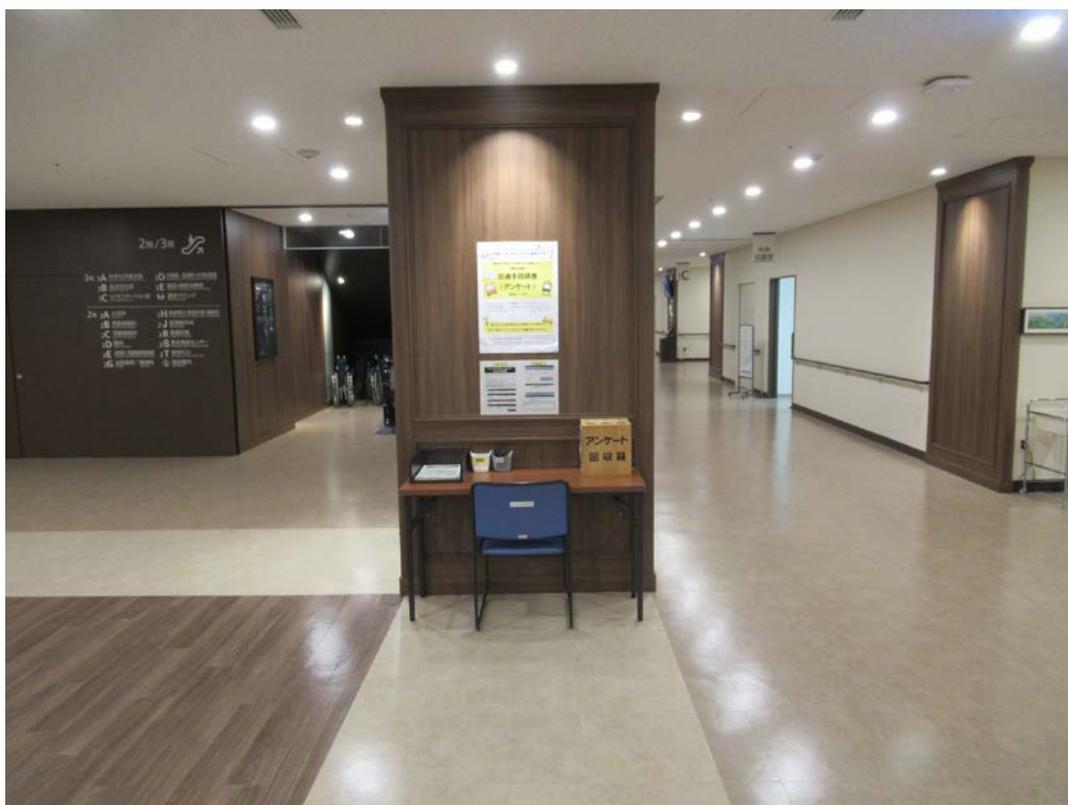
（ \_\_\_\_\_ から足立医療センターまでのバス）

- 〈記入例〉・ ●●駅から足立医療センターまでのバス
- ・ ●●地域（●丁目）から足立医療センターまでのバス
  - ・ ●●交差点（●●通り など）から足立医療センターまでのバス

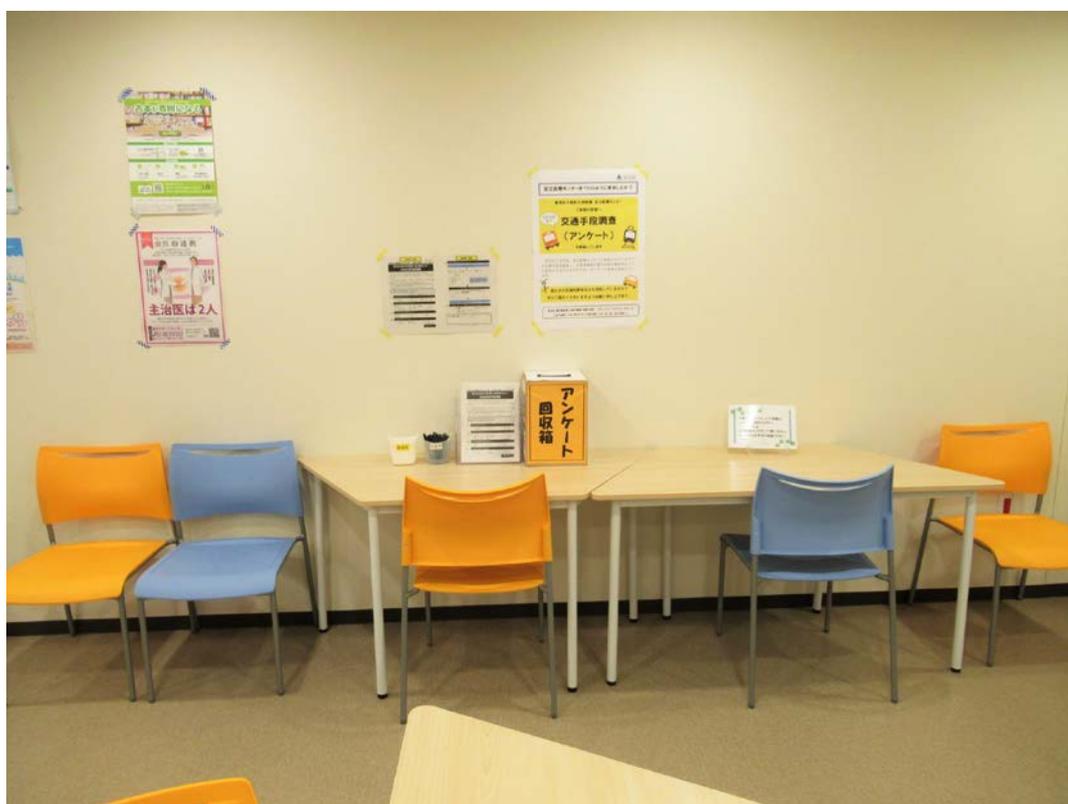
**【自由意見欄】** ※ 足立医療センターまでの交通手段で、お気づきの点・ご要望等ございましたら、ご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 総合案内所前（出入り口付近 他1箇所）



## からだ情報館内（会計付近）

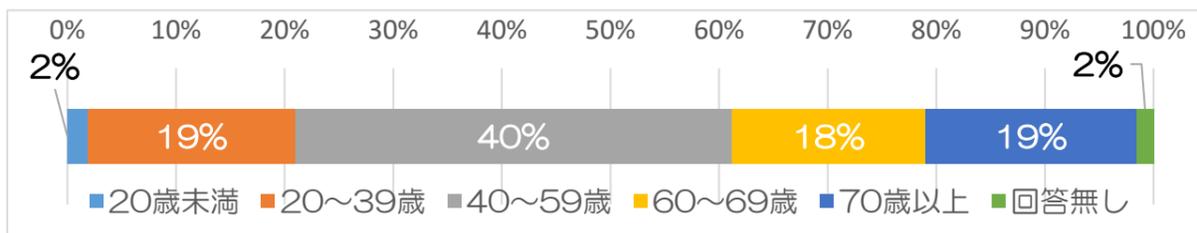


# 東京女子医科大学附属足立医療センターにおける利用者交通手段アンケート調査の結果概要

## 1. 回答者の属性

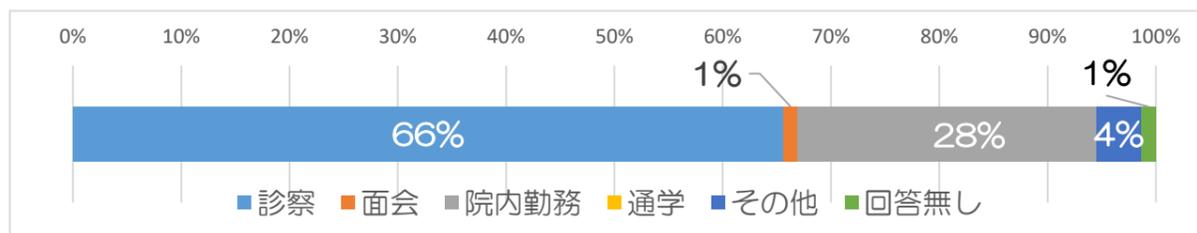
### ■年齢

回答者は40歳以上の方で77%を占めた。



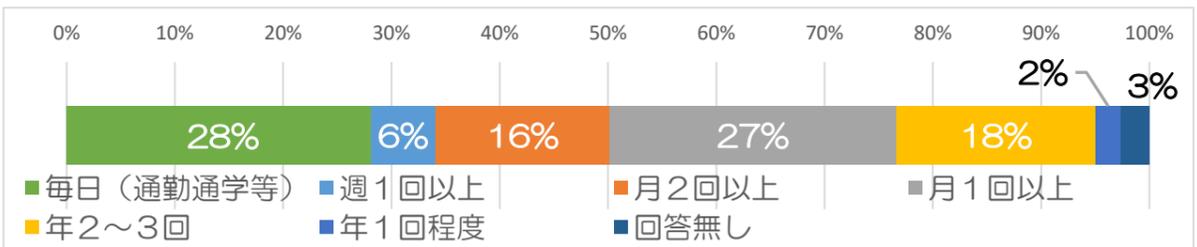
### ■来院目的

院内勤務の方からも105人の回答があった。また、その他の来院目的では主に患者の付き添いや退院手続きなどが理由として挙げられた。



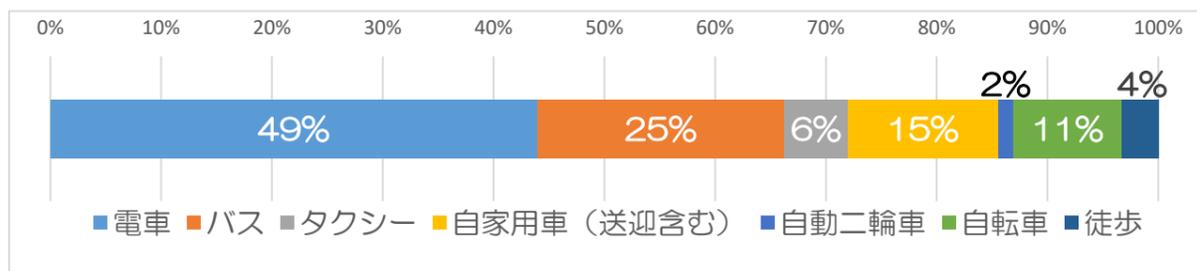
### ■来院頻度

「毎日」と回答したほぼすべてが病院勤務の方であり、診察などを目的に来院される方は、「月に1回以上」が最も多い回答であった。



### ■来院時の交通手段（複数回答有）※最寄駅、停留所までの交通手段は除く

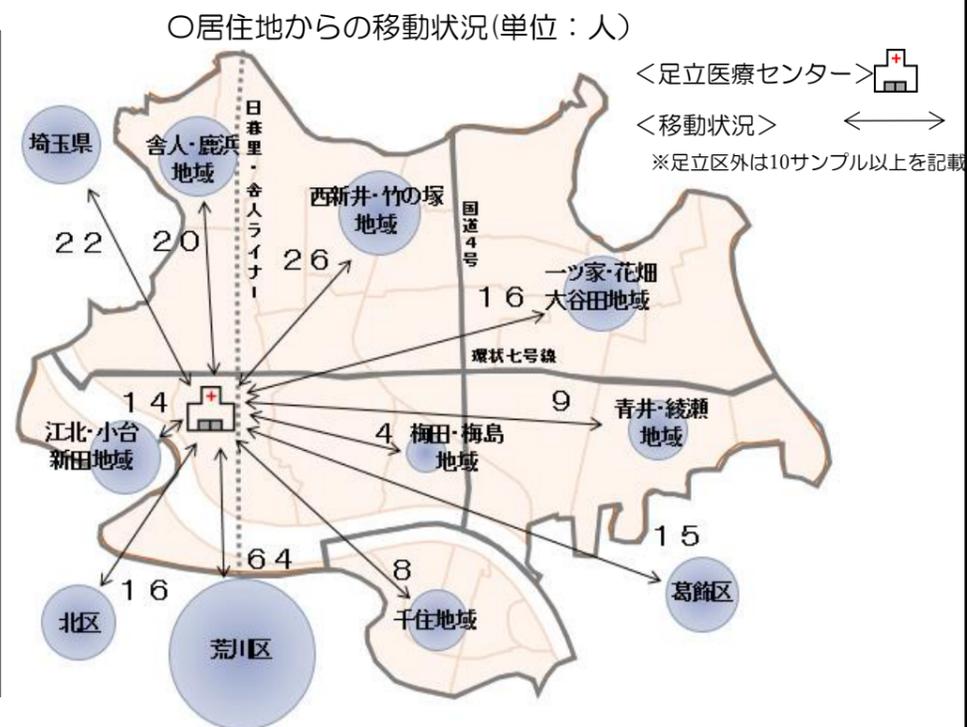
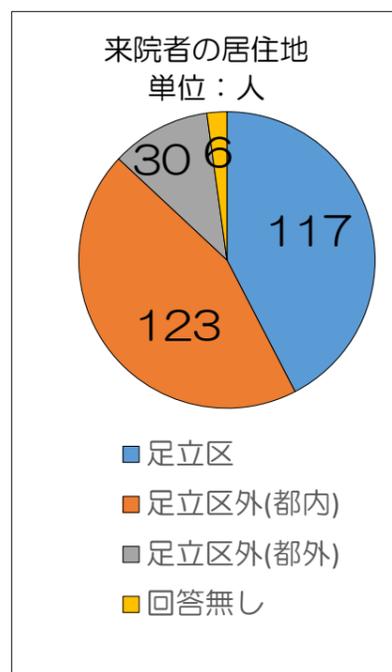
電車・バスを利用したの来院が、全体の約75%を占めた。また、自動車と自転車を利用したの来院は同程度の割合であった。



## 2. 回答者の来院状況

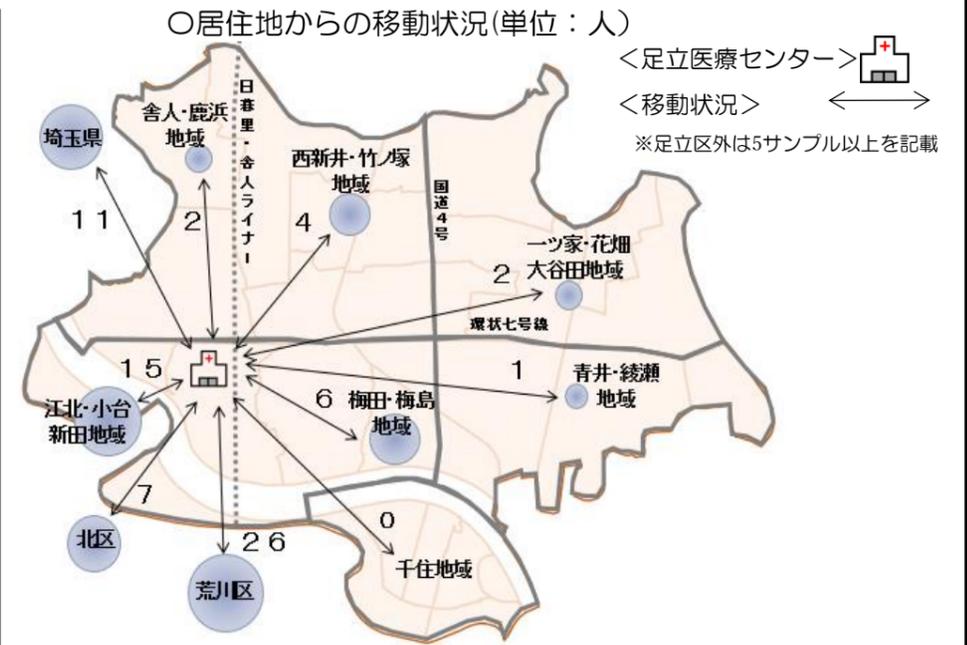
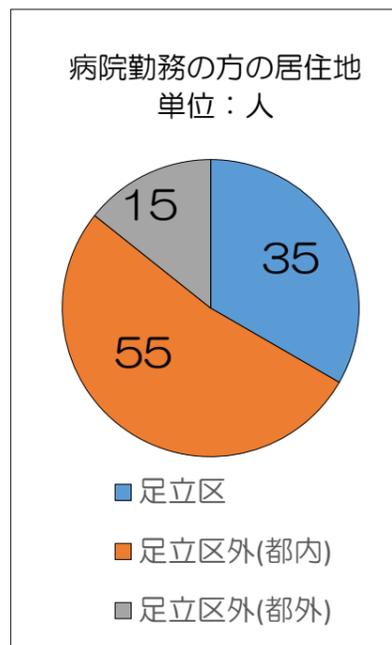
### ■診察や面会目的の来院者について

診察や面会目的の来院者は区内外関わらず、様々な地域から来院しており、区内では「西新井・竹の塚地域」が最も多く、区外では移転以前に東医療センターがあった荒川区から多くの方が来院している。



### ■病院勤務の方について

病院勤務の方は区外から通勤している人が多く、特に以前東医療センターのあった荒川区には全体の25%程が住んでいる。また、足立区内では病院に近い区西部の場所から来ている人が多い。



### 3. 来院時によく利用する駅・バスについて(上位5つ)

#### ■病院に行くまでによく利用する駅

乗車駅	降車駅
① 17人 熊野前駅 日暮里・舎人ライナー、荒川区	① 121人 江北駅 日暮里・舎人ライナー、足立区
② 10人 竹ノ塚駅 東武スカイツリーライン、足立区	② 28人 西新井駅 東武スカイツリーライン、足立区
③ 9人 見沼代親水公園駅 日暮里・舎人ライナー、足立区	③ 8人 王子駅 JR京浜東北線他、北区
④ 8人 日暮里駅 日暮里・舎人ライナー、荒川区	④ 7人 北千住駅 JR常磐線他、足立区
④ 8人 赤土小学校前駅 日暮里・舎人ライナー、荒川区	⑤ 5人 赤羽駅 JR京浜東北線他、北区

#### ■病院に行くまでによく利用するバス路線

- ① 24人 王40甲 池袋駅東口～江北一丁目～西新井駅
- ② 15人 王49 王子駅前～足立医療センター～足立区役所
- ③ 13人 里48-2 日暮里駅前～足立医療センター前～加賀団地
- ④ 10人 東43 東京駅～駒込病院前～荒川土手～江北駅
- ⑤ 9人 西08 西新井駅西口～足立医療センター

### 4. バスの新規路線要望について(上位3つ)

#### ■新規に整備してほしい足立医療センター行のバス路線

- ① 15人 竹ノ塚駅(東武スカイツリーライン) 発
- ② 7人 町屋駅(東京メトロ千代田線、京成本線、都電荒川線) 発
- ③ 6人 綾瀬駅(東京メトロ千代田線) 発

### 5. 自由意見に寄せられた、バス路線に関する意見について

#### ① 東43 東京駅～駒込病院前～荒川土手～江北駅 (17件)

##### <主な意見>

荒川土手バス停で終点になってしまう便が多いため、江北駅まで行く便数を増やしてほしい

##### <運行の概要>

荒川土手・江北駅方面  
⇒全89便のうち江北駅行は4便  
東京駅方面  
⇒全83便のうち江北駅発は5便

#### ③ 王30 王子駅～足立医療センター～亀有駅 (8件)

##### <主な意見>

便数が少ないため、増便してほしい

##### <運行の概要>

王子駅方面  
亀有駅発 3便/日(うち区役所行1便)  
王子駅方面  
王子駅発 2便/日

#### ② 王40甲 池袋駅東口～江北一丁目～西新井駅 (8件)

##### <主な意見>

混んでいることが多いため、朝及び夕方の時間帯を増便してほしい

##### <運行の概要>

西新井駅方面  
池袋駅東口発、西新井駅行は全142便  
池袋駅東口方面  
西新井駅発、池袋東口行は全143便

#### ④ 里48 日暮里駅前～江北駅～見沼代親水公園駅 (7件)

##### <主な意見>

日暮里・舎人ライナーが止まってしまうと交通手段がなくなる。日中の時間帯も運行してほしい。

##### <運行の概要>

日暮里駅前方面  
見沼代親水公園駅発 8便/日 朝夕のみの運行  
見沼代親水公園駅方面  
日暮里駅発 13便/日 朝夕のみの運行



# アンケートにおける要望の回答等について

## 1. 「東43」の延伸や増便要望について

### ■東京都交通局の回答

東43系統の収支状況は、平成30年度で約5000万円の赤字、令和元年度で約7900万円の赤字、令和2年度で約1億5200万円の赤字と、以前より大きな赤字を抱えている路線となっています。

この路線を延伸させた場合、所要時間が増加するため、赤字額が大きくなり、現在の経営状況では困難です。また、所要時間増加により、運行回数が減少し、**現在利用されているお客様の利便性の低下を招くこととなります。**

また、荒川土手～江北駅間は王40系統が荒川土手～江北四丁目を高頻度で運行しており、**王40系統へ乗り換えることで一定の利便性は確保されている**と判断しています。

以上の理由から、**東43系統を延伸することは実現が難しい**と考えております。

これからも、お客様に信頼され、支持される都営バスとなるように努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 「王30」の増便及び竹ノ塚駅からの新規路線要望について

### ■東武バスセントラル株の回答

現在、乗務員不足のため現行のダイヤを維持するだけでも精一杯であり、新たな投資になると車両の購入も必要になってきます。また、今般のコロナ禍で弊社の営業収支が赤字のため**実現は厳しい状況**であります。なお、足立医療センターの開院に合わせて、**西08**（西新井駅西口～足立医療センター）の**新規運行開始**、従前江北駅止まりだった**北05**を、**足立医療センターまで延伸**しております。大変恐縮ではございますが、そちらの路線も合わせてご利用いただければ幸いです。

## 3. バス乗継に関するお得な制度について

### ① 都営バス

東京都交通局では、「一日乗車券」を取り扱っており、**最初に乗車するバスの乗務員に申出て頂く**ことで、PASMOやSuica上でも購入が可能となっている。

東43系統から王40系統に乗換えをした場合、通常往復で840円（210円×4回）となるが、「一日乗車券」をご購入した場合、500円で他系統の都営バスも含めて何度でも乗車できる。



※ 都バス路線案内 みんくるガイド より抜粋

### ② 東武バスセントラル株

東武バスセントラル株では、令和4年7月22日より、ジョルダン株式会社が提供するスマートフォンアプリで、窓口に並ぶことなく、**スマートフォンからキャッシュレスで乗車券を購入できる『足立一日フリーパス(大人500円、小児250円)』**の販売を開始した。こちらは、1つのスマートフォンで**複数名の購入も可能**となっている。また、現在の紙式も引き続き営業所等で購入できる。



※ 東武バスセントラル株HPより抜粋

## 1. 要望に対する区への取り組みについて

### ① 荒川土手バス停から自転車を利用したアクセスについて

バス以外の交通手段として、区で行っている取り組みとしては、以下の2つがある

#### <シェアサイクル>

現在、荒川土手バス停付近において、シェアサイクルポートを設置しており、今後、足立医療センター付近の歩道上にも、整備できるよう検討している。



荒川土手バス停最寄り自転車駐車場内

#### <サイクルアンドバスライド>

自転車で最寄りバス停まで行き、バスに乗り換えて目的地に向かえるよう、荒川土手バス停付近に自転車駐車を2箇所（410台駐輪可能で利用料無料）設置している。



荒川土手バス停最寄り自転車駐車場

荒川土手バス停

自転車駐車場

### ② 江北平成公園内における「バスのりば案内」の設置について

利用者からバス案内がわかりづらいとの声を受け、令和4年7月上旬に「東京女子医大足立医療センター」と「東京女子医大足立医療センター前」に停車する5つのバス停の案内板を設置した。



設置場所



交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

<p>件名</p>	<p>はるかぜ車両購入補助予定台数の変更について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>都市建設部交通対策課</p>
<p>内容</p>	<p>今年度のはるかぜ車両購入補助の予定台数に変更が生じる見込みであることから、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 変更理由</b></p> <p>(1) 朝日自動車（はるかぜ2号） 当初、予定していた2台（15年使用）に追加して、他の1台（14年使用）についても経年による不具合が発生しているため。</p> <p>(2) 新日本観光自動車（はるかぜ5号、6号、8号、11号） 車両の経年劣化（14年使用）による修理費や燃料費の高騰、運賃収入減少などが続いており、ランニングコスト等を削減するため、早期にEVバス化を進めていきたい。 また、調整の結果、国土交通省の補助金が今年度は1事業者あたり1台の受付可となったため、今年度から着手したい。</p> <p><b>2 EVバス導入に関する区の補助予定</b> EVバスの導入にあたっては、バス事業者が国交省や東京都からの補助金※を充当予定であり、その額を減じた費用の75%を区が補助することになる。</p> <p>※ 国土交通省 自動車環境改善対策費補助金 （車両本体の1/3補助） 東京都環境局 EVバス導入促進事業（車両本体の1/3補助）</p> <p>（EVバス1台あたりの区の補助予定額） 車両本体費用から国と都からの補助金を差引いた額と、その他バス仕様附属品の合計額に対して75%を補助した場合、1,500万円程度</p> <p><b>3 予算措置について</b> 今年度当初は、補助台数が6台の予定であったが、上記の理由により、はるかぜ運行に支障をきたさないためにも、8台に変更する。 また、増台に伴う予算措置として、9月補正対応を行う。</p>

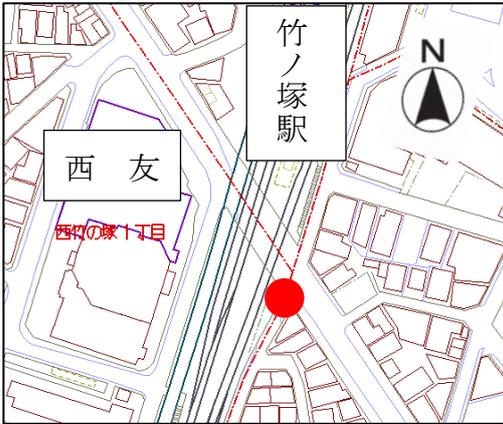
	R4 当初	R4 変更
日立自動車交通	4 台	4 台
朝日自動車	2 台	3 台
新日本観光自動車	—	1 台
合計台数	通常車両 6 台 E V 車両 0 台	通常車両 7 台 E V 車両 1 台

※ 令和 5 年度は通常車両 5 台、E V 車両 3 台の予定

問題点  
今後の方針

車両購入補助制度の運用により、はるかぜの路線と便数維持を図り、区内の交通利便性の確保に取り組んでいく。

令和4年8月23日

<p>件名</p>	<p>竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>鉄道立体推進室鉄道関連事業課 都市建設部まちづくり課 エリアデザイン推進室エリアデザイン計画担当課 危機管理部危機管理課</p>
<p>内容</p>	<p>竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 第37号踏切跡（赤山街道）の安全対策について</b></p> <p>(1) 新たな対策</p> <p>ア H鋼ガードレール、単管バリケードの設置</p> <p>(ア) 設置場所 歩道と車道の境界部</p>  <p>(イ) 設置日 令和4年6月23日（木）</p> <p>イ 音声案内</p> <p>(ア) 設置場所（下図●箇所）</p>   <p>(イ) 設置日 令和4年6月14日（火）</p> <p>(ウ) 案内時間 午前6時30分から午後6時まで</p> <p>(エ) 案内内容 「この箇所の横断は大変危険です。近くの横断歩道」</p>

をご利用ください。」

ウ 誘導員の配置

H鋼ガードレール、単管バリケードの設置に伴い、歩行者等の既存横断歩道への誘導を行うため、朝、夕の通勤・通学時間帯に誘導員の配置を行った。

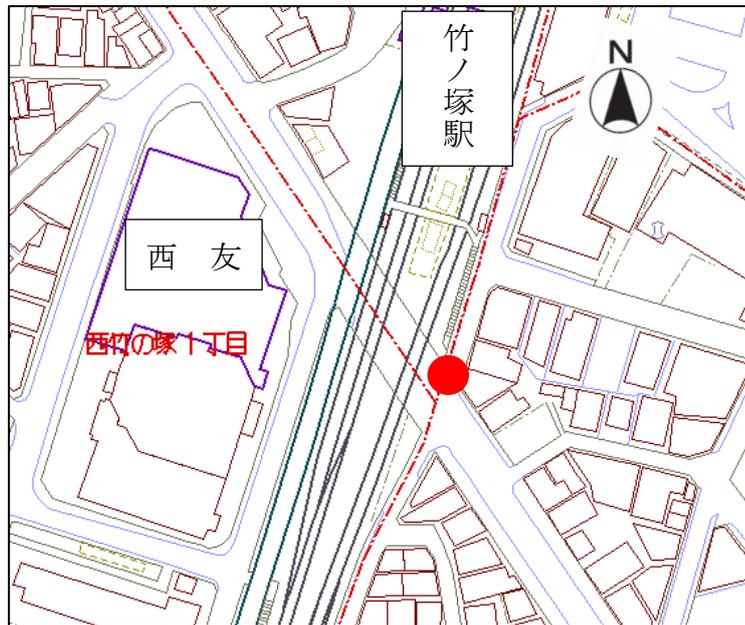
(ア) 配置期間

令和4年7月1日（金）から9月30日（金）まで（予定）

(イ) 配置時間及び人数

- ・ 午前7時から午前10時まで 1名
- ・ 午後4時から午後7時まで 1名

(ウ) 配置場所（下図●箇所）



(エ) 配置状況（7月6日午前8時20分頃）



(2) 報告済みの対策

ア 横断歩行者、自転車への対策

(ア) 注意喚起看板の設置



(イ) 横断抑止コーンバーの設置



イ 自動車運転手への対策

(ア) 注意喚起看板の設置



(イ) 路面表示



## 2 高架下利用協定の締結について

高架化事業により生じる高架下の公共利用について、東武鉄道と協定を締結したので、下記のとおり報告する。

(1) 締結日 令和4年7月15日(金)

(2) 目的

公共利用する高架下の面積や位置等を定めることにより、公共施設設置の促進を図る。

(3) 主な協定内容

ア 利用面積

2,941.4㎡(高架下利用可能面積の15%相当)

(内訳 西口駅前広場2,156.3㎡、公共利用785.1㎡)

イ 位置(別紙1参照 P32~37)

ウ 使用料

公租公課相当額(公共施設の場合は無料)及び無償

(4) 今後のスケジュール

西口広場の令和5年度使用開始に向け、令和4年度中に東武鉄道と使用契約を締結する予定である。

### 3 竹ノ塚駅西口広場（足立区画街路第14号線）暫定整備について

竹ノ塚駅西口広場については、補助第261号線側から出入りする計画となっている。

補助第261号線の整備状況を考慮し、赤山街道側から一般車及びタクシー（バスを除く）の出入りを対象とした暫定整備を行う。

#### (1) 整備時期

令和5年7月～令和7年3月（予定）

#### (2) 整備箇所（別紙2参照 P38）

### 4 竹ノ塚駅西口広場（足立区画街路第14号線）暫定整備に伴う協定の締結について

竹ノ塚駅西口広場（足立区画街路第14号線）の暫定整備に伴い、区画街路第14号線事業用地の一部と東武鉄道用地を相互に使用するため、協定を締結した。

#### (1) 締結日 令和4年8月5日（金）

#### (2) 目的

補助第261号線が供用されるまでの間、東武鉄道用地を使用することにより、赤山街道側から竹ノ塚駅西口広場（足立区画街路第14号線）への一般車及びタクシー（バスを除く）の動線を確保する。

#### (3) 主な協定内容

ア 使用料 無償

イ 位置（別紙2参照 P38）

#### (4) 今後のスケジュール

土地の使用に係る詳細について、今年度末までに土地使用契約を締結する。

### 5 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会の開催結果について

#### (1) 日時

令和4年7月29日（金）

#### (2) 開催方法

書面開催（各会員への郵送）

※ 対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面にて開催した。

#### (3) 主な内容

ア （仮称）足立区客引き防止条例の制定について

イ 竹ノ塚駅付近における道路整備状況について

ウ 竹ノ塚のまちづくりの取組み状況について

	<p><b>6 エリアマネジメント事業の進捗状況について</b></p> <p>令和4年3月に足立区、UR都市機構、東武鉄道が締結した竹ノ塚駅周辺のまちづくりに関する協定を受け、相互に連携、協力し事業を開始するエリアマネジメント事業「まちづくりラボ（仮称）」について、以下のとおり報告する。</p> <p>(1) 概要</p> <p>地域住民参加型のまちづくりを進めていくため、UR都市機構と相互に協力し、以下の取り組みを実施していく。</p> <p>ア 竹の塚第三団地3号棟の一部を活用し、持続可能なまちづくり検討のための活動拠点（情報発信の場、イベント実施スペース、コミュニティカフェ等）を整備（UR委託の事業者が常駐）</p> <p>イ 地域住民参加型ワークショップの企画・運営</p> <p>ウ 体感治安の向上、エリアデザイン計画など区の施策に対する地域ニーズの把握、効果分析</p> <p>エ まちづくりに関する情報発信</p> <p>(2) スケジュール</p> <p>令和4年 9月 事業者決定（UR）</p> <p>令和4年12月 開設予定 約3年間の活動を予定</p> <p>(3) 今後の予定</p> <p>足立区とUR都市機構でエリアマネジメント事業に対する協定書を締結し、事業費用の一部を相互に負担し運営することで、区の施策に対する事業展開、効果分析、情報発信を行っていく。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。</p> <p>2 持続可能なまちづくりの実現に向けて、関係機関と協力して進めていく。</p>

## 高架下の公共利用に関する協定書

足立区（以下、「甲」という。）と東武鉄道株式会社（以下、「乙」という。）とは東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業によって生じた高架下貸付可能区域等のうち別添図書図面番号①－１、①－２、②－１及び②－２の区域（以下、「高架下」という。）の公共利用に関し、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 この協定は、平成19年8月9日付けで国土交通省が定めた「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する要綱」及び「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱」により、高架下の利用に関して所定の事項を定めることを目的とする。

### （位置及び面積）

第2条 甲が公共利用する高架下の位置及び面積は、別添図書のとおりとする。

### （協議事項）

第3条 甲は、別添図書図面番号①－１、①－２、②－１及び②－２において、建築物又は工作物（以下、「建築物等」という。）を設置しようとするときは、その都度乙に協議するものとする。

2 甲及び乙は、高架下の使用については、本協定書に定めるもののほか、詳細は甲、乙協議のうえ別途高架下の公共利用に関する契約を締結するものとする。

### （使用料）

第4条 高架下の使用料は、別添図書図面番号①－１及び②－１の範囲は公租公課相当額とし、同①－２及び②－２の範囲は無償とする。

2 甲は、前条第2項の高架下の公共利用に関する契約後、乙が関係機関に対して行う該当箇所の税の非課税及び減免に関する手続きに必要なかつ合理的な協力をするものとする。

3 甲は、別添図書図面に定める区域を超えて高架下貸付可能区域等を利用するときは、乙と協議し使用料を定めるものとする。

### （権利義務の譲渡等の禁止）

第5条 甲及び乙は、この協定上の地位又はこの協定によって生ずる権利若しくは義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、事前に相手方の書面による承諾を得た場合は、この限りでない。

(管理及び運営の委託)

第6条 甲は、あらかじめ乙と協議の上、甲が必要と認める団体に、建築物等の管理及び運営を委託することができる。

2 甲は第3条第2項の契約を締結し、高架下の引き渡しを受けた以降、当該土地を管理する。

(協定の有効期間)

第7条 この協定の有効期間は、協定締結の日から高架下の使用が終了する期間とする。

(協定外の事項等)

第8条 この協定に定めのない事項、又はこの協定の条項について疑義が生じたときは、甲、乙が協議してこれを定めるものとする。

この協定の証として本通2通を作成し、甲、乙記名押印のうえ、各自1通を保有する。

令和4年7月 日

甲 足立区  
足立区長 近藤 弥生

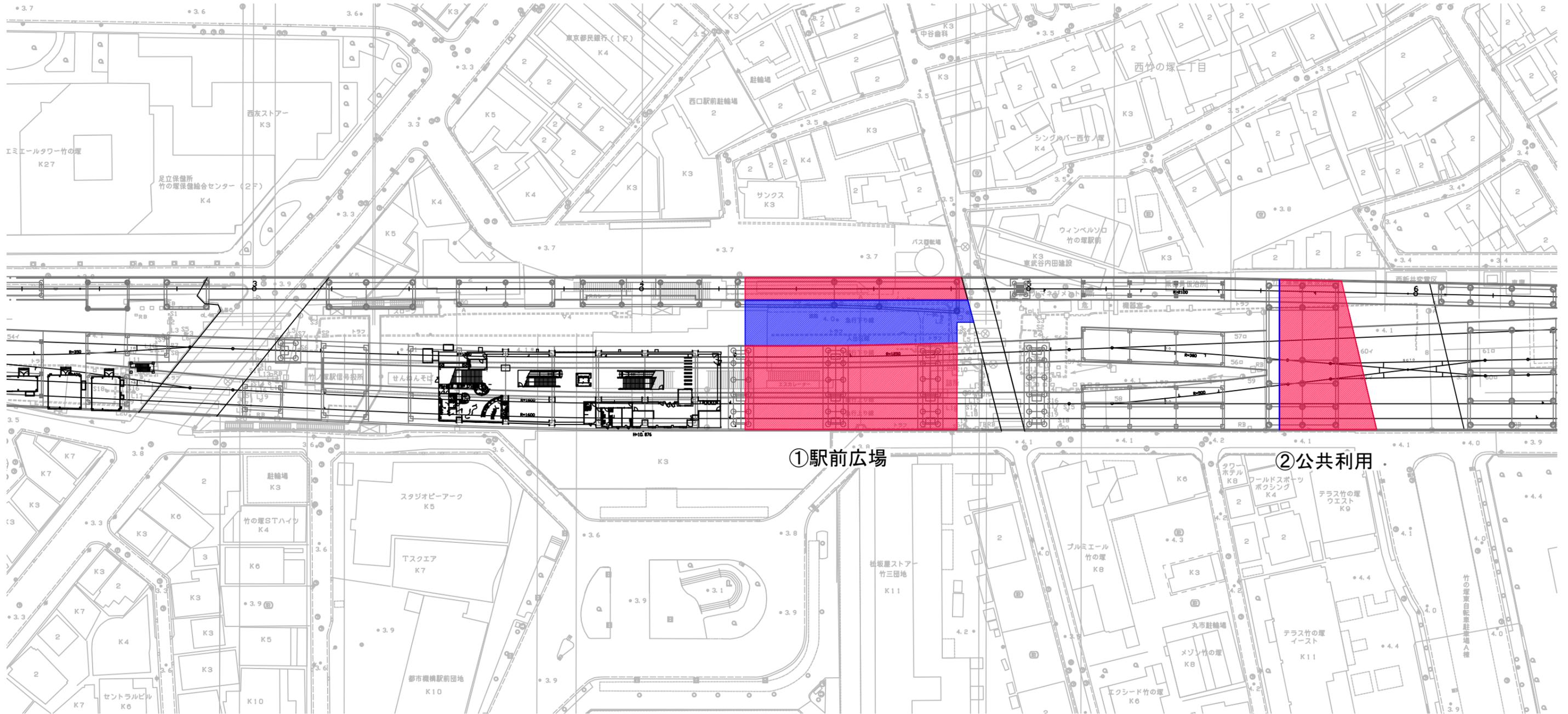
乙 東京都墨田区押上一丁目1番2号  
東武鉄道株式会社  
取締役社長 根津 嘉澄

高架下公共利用面積表

位置 (図面番号)		面積 (㎡)	備考
①	駅前広場	2,156.3	
①-1		1,505.0	公租公課相当分対象
①-2		651.3	無償部分
②	公共利用	785.1	
②-1		785.0	公租公課相当分対象
②-2		0.1	無償部分
高架下公共利用面積合計		2,941.4	①と②の合計
公租公課相当分面積合計		2,290.0	①-1と②-1の合計

# 高架下の公共利用に関する協定 別添図

## 高架下公共利用計画図



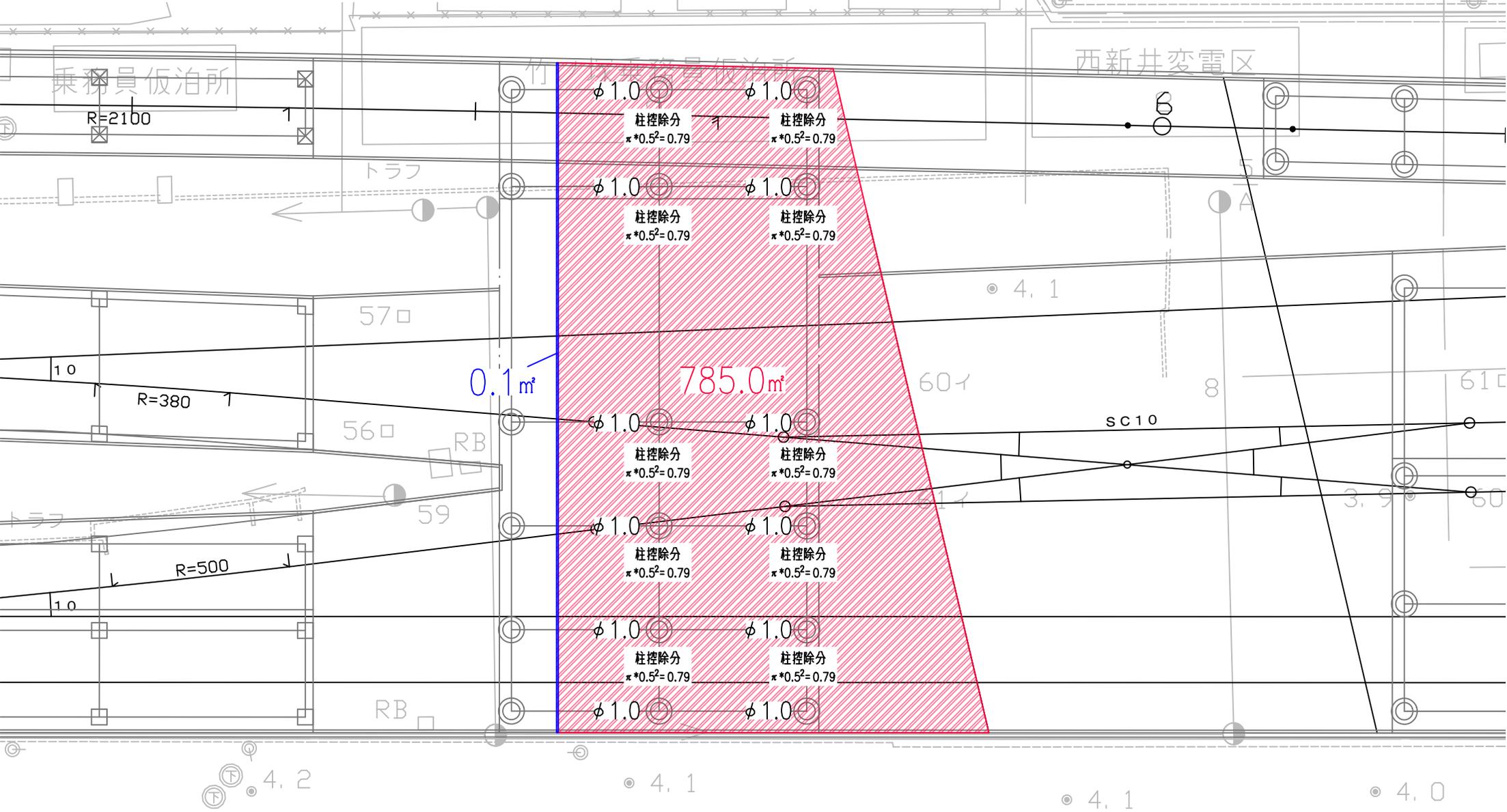
①駅前広場

②公共利用

-  甲が公租公課相当額で利用する箇所
-  甲が無償で利用する箇所



② 公共利用 785.1㎡ (柱控除後)  
 (内訳) ②-1 785.0㎡  
 ②-2 0.1㎡



 甲が公租公課相当額で利用する箇所  
 甲が無償で利用する箇所

竹ノ塚駅西口駅前広場暫定整備範囲

協定に基づく足立区使用範囲

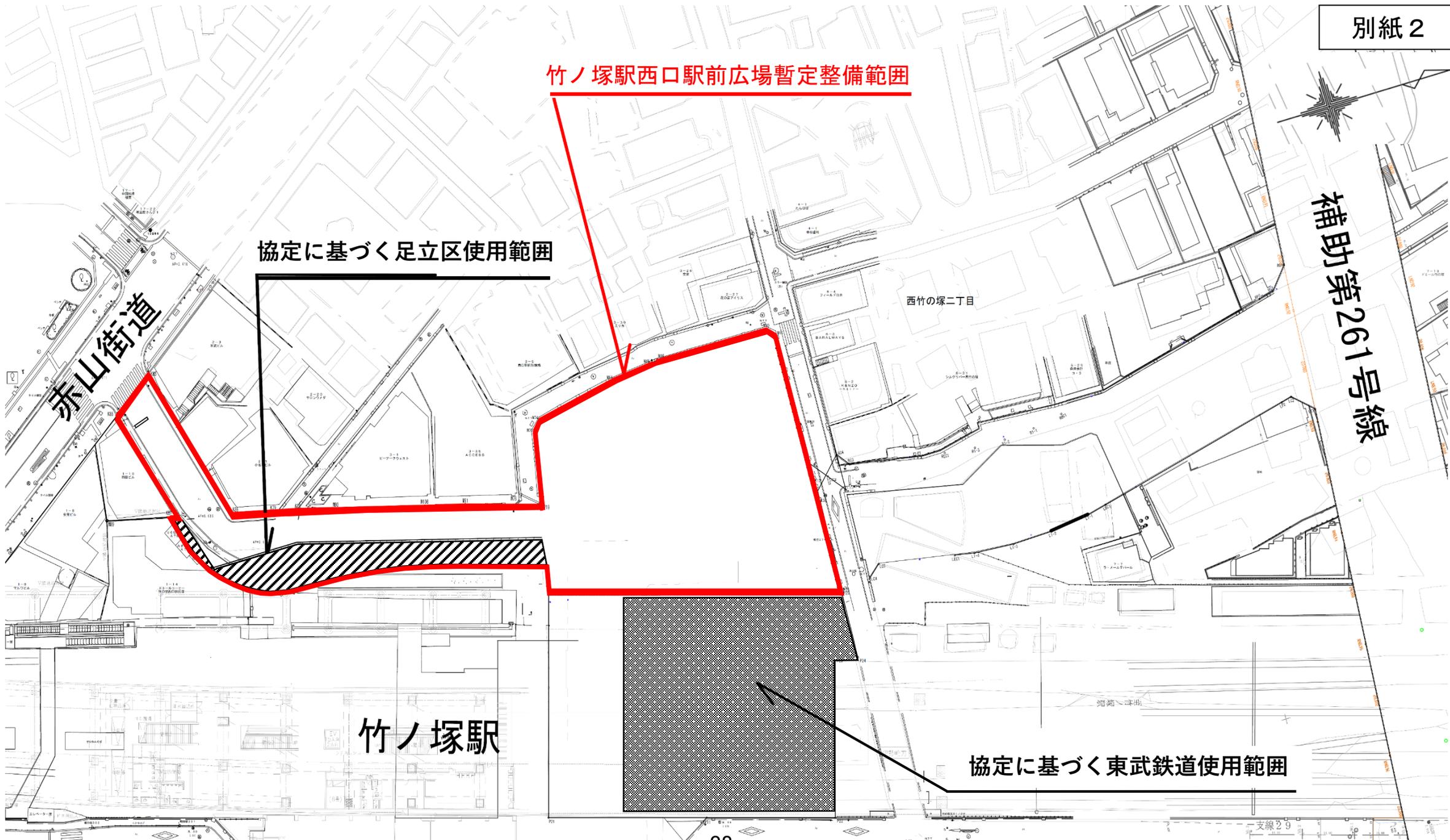
赤山街道

補助第261号線

西竹の塚二丁目

竹ノ塚駅

協定に基づく東武鉄道使用範囲



# 交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年8月23日

件名	メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室鉄道関連事業課
内容	<p>メトロセブンの整備促進に向けた取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会総会の書面開催について</b></p> <p>令和4年度総会については対面での開催を予定していたが、急激な新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を鑑み、書面による開催に変更して行った。</p> <p>(1) 会員の構成（足立区・葛飾区・江戸川区） 3区の区長、副区長、区議会正副議長、交通問題を所管する委員会の委員及び区議会の推薦者</p> <p>(2) 主な決議事項ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度事業報告、決算報告、監査報告</li> <li>・ 令和4年度事業計画、予算</li> <li>・ 活動報告</li> </ul>
問題点 今後の方針	<p>1 答申に示された課題の整理と問題点の検討を行っていく。</p> <p>2 早期実現に向けて、様々な方策を検討し地域機運の醸成を図っていく。</p>